

令和7年度 第1回

九州地方整備局コンプライアンス・アドバイザリー委員会 議事概要

1. 開催日時 令和7年6月25日（水）10:00～11:00

2. 開催場所 福岡第二合同庁舎 共用第4・第5・第6会議室

3. 出席委員
委員長 砂田 太士 福岡大学名誉教授
委員 園田 佳巨 九州大学理事・副学長
委員 高田 亜朱華 弁護士
委員 矢野 真紀 公認会計士
委員 吉野 直人 西南学院大学商学部教授 （敬称略 五十音順）

4. コンプライアンス推進本部出席者

本部長 森田局長
副本部長 坂井副局長 川埜副局長
本部長 青野企画部長 判田建政部長 大野河川部長 三保木道路部長
佐野用地部長 阿部統括防災官

5. 議事

- （1）令和6年度コンプライアンス推進計画の実施状況報告
- （2）その他

6. 議事の概要

- （1）令和6年度コンプライアンス推進計画の実施状況報告

「九州地方整備局コンプライアンス推進計画（令和6年度～令和8年度）」（以下、「推進計画」という。）に基づく、令和6年度の実施状況等について、九州地方整備局コンプライアンス推進本部から以下の説明がなされた。

① 推進計画「Ⅱ.具体的取組」の実施状況と評価

推進計画に掲げられた各種取組について、令和6年度における実施状況及び各取組に対する職員アンケートの結果、並びにこれらを踏まえた評価について説明がなされた。

② 令和6年度の取組評価のまとめ

上記①を総括した、令和6年度における九州地方整備局のコンプライアンス推進の取組に対する評価について説明がなされた。

令和6年度におけるコンプライアンス推進の取組状況は、良好であるが、今後の取組にあたっては、以下の点に留意いただき、より一層のコンプライアンス推進を図られたい。

○風通しの良い魅力ある職場づくりについて

- ・「風通しの良い魅力ある職場づくり」については良く分析ができていると思うので、組織としてこの状況を認識することは有効。
- ・職員間で、「風通しの良さ」に関する意識の差、温度差については解消をしていくことが望ましい。
- ・取組方法としては、若手職員に限らず、他の年代や属性も考慮しながら、自らの意見を発表する機会を設けるなど、コミュニケーションの促進を図っていくことが重要。
- ・管理職に対しては、この「風通しの良さ」に関するアンケート結果を十分認識して、新しい取組を考えていただきたい。
- ・期間業務職員の立場や役割について、様々な固定化された認識（思い込み）があるのではないか。管理職から期間業務職員に対してアプローチを行い、考え方や意見を引き出していくことも有効ではないか。

○職員の一人ひとりの知識・意欲の向上（情報提供と活用）について

- ・コンプライアンス・ポケットブックを「役立たない」「読んだことがない」と回答している者がいるため、コンプライアンス・ミーティングや各研修で教材としてポケットブックを使用してはどうか。ポケットブックに限らず、コンプライアンス通信も含め、「役立たない」と回答した者に対して、なぜ「役立たない」と思うのかをアンケート等で理由を確認するなどして、具体的に掘り下げていき、改善点や工夫点を把握してはどうか。

○職員の一人ひとりの知識・意欲の向上（研修・講習会）について

- ・研修等に参加していない者の把握や分析をおこない、参加率の向上に努めると良い。

(2) その他

特になし

<まとめ>

「令和6年度九州地方整備局コンプライアンス報告書（案）」の内容については、了承する。

令和6年度におけるコンプライアンス推進の取組状況は、良好であると評価する。

令和7年度は九州地方整備局コンプライアンス推進計画（令和6年度～令和8年度）の中間年度であるので、本日の委員会意見も踏まえ、より一層のコンプライアンス推進を図られたい。